



奈良県感染症情報

令和3年 第24週(6月14日～6月20日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RSウイルス感染症	5.44	(5.21)	↘	→	↘	↑↑
2	感染性胃腸炎	4.00	(4.03)	→	↑	↘	↓
3	咽頭結膜熱	0.82	(0.68)	↗	→	↗	→
4	突発性発しん	0.41	(0.65)	→	↗	↘	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.26	(0.29)	↘	↓	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆県内概況◆

咽頭結膜熱の報告が、前週から引き続き増加しています。咽頭結膜熱は特別な治療法はありませんが、ほとんど自然に治ります。頭痛の強いとき、吐き気、せきが激しいときは医療機関に早めに相談してください。

第24週の新型コロナウイルス新規感染者数は82名と前週の68名から増加しました。また、県内でもインドで最初に検出された変異株であるデルタ株が初めて確認されました。今後の感染拡大を防止するためには、変異株であっても、3密(密集・密接・密閉)の回避や、マスクの着用、手洗いなどが、これまでと同様に有効ですので引き続き、感染対策を実践しましょう。

❖小児科外来情報❖

北部地区(田中小児科医院)

外来患者数は増加傾向です。

感染性胃腸炎はウイルス性が主体ですが、2例のカンピロバクタ腸炎があった。

幼児のRSウイルス感染症はまだ多い。

アデノウイルス腸炎の後、多形滲出性紅斑を認めた例があった。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数はやや増加。発熱、咳嗽例が多い。

幼児でRS感染症が流行中。アデノ様の高熱例が増加。水様便を呈する感染性腸炎も続いてみられる。

嘔吐のノロ様例はやや減少した。手足口病が1例あった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

RSウイルス感染症が乳児～幼児で流行している。入院必要例も多い。

手足口病も散見されている。ノロウイルス胃腸炎は減少してきた。

❖L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況❖

県では、厚生労働省の通知に基づき、6月14日の週から、N501Y変異株PCR検査に代わりデルタ株等有するL452R変異株PCR検査を実施しています(6月7日～13日の検査は民間検査機関による検査です)。

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	L452R変異株陽性者数	国立感染症研究所におけるゲノム解析結果(判明数のみ)		
			デルタ株	デルタ株以外の変異株	解析不能
6月7日～6月13日	3	-	3※	-	-
	(N501Y変異株PCR検査)	0	-	-	-
6月14日～6月20日	34	2	0	0	0
計	39	2	3	0	0

デルタ株:インドで最初に検出された変異株

※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 24 週 6 月 14 日 ~ 20 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	185 (5.44)	43 (4.78)	24 (2.67)	48 (6.86)	55 (9.17)		15 (7.50)	
咽頭結膜熱	28 (0.82)	1 (0.11)	4 (0.44)	17 (2.43)	5 (0.83)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	9 (0.26)	1 (0.11)	1 (0.11)	5 (0.71)	2 (0.33)			
感染性胃腸炎	136 (4.00)	40 (4.44)	30 (3.33)	21 (3.00)	41 (6.83)	2 (2.00)	2 (1.00)	
水痘	2 (0.06)			2 (0.29)				
手足口病	5 (0.15)		1 (0.11)	4 (0.57)				
伝染性紅斑								
突発性発しん	14 (0.41)	6 (0.67)	2 (0.22)	5 (0.71)	1 (0.17)			
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	2 (0.06)		1 (0.11)				1 (0.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)	1 (0.33)		2 (1.00)				
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(郡山1、中和2)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 梅毒4件(奈良市2、中和2)

❖ 第 24 週のトピックス ❖

◆新型コロナウイルス感染症 第四期 奈良県緊急対処措置

<http://www.pref.nara.jp/58767.htm>

◆関東地方で初めて感染が確認された重症熱性血小板減少症候群の1例
(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/sfts/sfts-iasrs/10449-497p02.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						1
	女																						
RSウイルス感染症	男	7	8	25	21	17	14	6														98	933
	女	4	9	27	25	14	7	1														87	833
咽頭結膜熱	男			4	2	1	4															11	184
	女			1	7	4	2	3														17	124
A群溶連菌咽頭炎	男			1		1	1	2	2													7	191
	女				1	1																2	157
感染性胃腸炎	男		3	10	17	8	6	4	2	1	1	2	6	1	6							67	1250
	女		3	12	13	4	8	9	7	1	1			3	8							69	1066
水痘	男								1													1	23
	女										1											1	24
手足口病	男		1		1	2	1															5	30
	女																						14
伝染性紅斑	男																						2
	女																						4
突発性発しん	男	1	7	1				1														9	169
	女		1	2	1																	5	138
ヘルパンギーナ	男																						9
	女																						7
流行性耳下腺炎	男										1											1	16
	女				1																	1	8
急性出血性結膜炎	男												1										1
	女																1	1				3	36
流行性角結膜炎	男																						11
	女																						
細菌性髄膜炎	男																						2
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						2
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						1
	女																						
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						1

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

